

働き盛りの健康づくり支援事業「事業所まるごと健康宣言」 優良取組事業所表彰式を開催しました！

令和2年9月末までに健康宣言した334事業所の中で、事業所ぐるみで健康づくりに関する活動に積極的に取り組んだ事業所のうち、特に優れた取組みを行った8事業所に対して、令和3年3月11日に香川県庁本館21階特別会議室において、知事及び協会けんぽ香川支部長から表彰を行いました。



受賞事業所



表彰式の様子



受賞者代表挨拶

受賞事業所の評価された取組み

知事賞

讃光工業株式会社（さぬき市）

- ・会社の敷地に菜園をつくり、従業員らで苗植えから世話をして収穫した野菜を持ち帰れるようにし、食生活の改善に努めた。また、社員食堂で週1回実施するサラダバーを給食利用者以外にも自由に食べてもらうことで、野菜摂取の意識が高まった。
- ・家族を含めたイベントの開催や地域のイベントに参加するなど、毎月レクリエーションを実施し、コミュニケーションの促進に取り組んだ。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のための独自のガイドラインを作成し、検温・換気・消毒だけでなくテレワーク・子連れ出勤の導入などを行った。

奈良電機重工株式会社（綾川町）

- ・健康診断の管理表を作成し、受診予定や結果、その後の予定などを管理できるよう体制整備を行った。また、地域産業保健センターを活用し、受診結果を医師に見てもらい、本人との面接・指導へと繋いだ。
医師から要医療との助言があった者には、再検査指示書を作成し、受診とその後の治療を促した。
- ・毎日、始業時と昼休憩後に一斉放送を利用して全社でラジオ体操を実施する事で、長時間の座りっぱなし防止となり、体を動かすことが習慣化された。

株式会社メタルワンスチールセンター四国（丸亀市）

- ・34歳以下の従業員全員に、血液検査と2年おきの心電図検査を会社負担で追加し、夜勤者も未受診とならないように計画的に実施した。
- ・要精密検査者の受診を促すため、「再検査指示書・検査結果報告書」を作成して受診勧奨を行い、再検査の受診時間は出勤扱いとした。
結果報告書提出時の確認で、必要に応じて業務の配慮を行った。
- ・厚生労働省のチェックリストを利用して感染症対策を徹底するとともに、インフルエンザ予防接種は勤務時間内の実施を可能とした。

（五十音順）

受賞事業所の評価された取組み

協会けんぽ香川支部長賞

株式会社安岐水産・株式会社キングフーズ（さぬき市）

・従業員がコミュニケーションを取りながら心身の健康意識の向上を目的に、健康委員会(社内独自の委員会)が中心となり、健康に関する情報共有や、ストレッチ・メンタルワーク・食育(レシピづくり・調理実習・試食)等を全体朝礼などで定期的に行っている。

その結果、従業員の笑顔と会話が增え、健康づくりに興味を持ったり、身近に感じてくれる人が増えたりと、健康づくりへの意識が高まった。

(グループ企業で同取組み)

株式会社讃匠（宇多津町）

・野菜を摂る機会を増やして、従業員が健康的に過ごせるよう、有機栽培野菜を全国から集めて社員食堂で提供している。ご飯は、五穀米、玄米、十六雑穀の3種類を用意。ドレッシングは食品添加物が入っていない健康的なものを置き、野菜を中心とした食生活改善に努めた。バイキング形式で好きなものを好きなだけ無料で食べられる環境とした。

皆、積極的に食べるように心がけ、特に自宅で野菜をあまり食べない若者が野菜を摂ることによって、体調不良もなく健康的に過ごせるようになった。

第一機工株式会社（高松市）

・全社員に万歩計を支給して、毎日5,000歩以上歩く運動を行っている。また、ウォーキングがより効果的な健康づくりとなるように、高松市の運動健康出前講座「ウォーキングによる健康づくり」を受講し、個別に歩き方をチェックしてもらうことで、効果的な正しい歩き方の認識を深めた。

毎月初めに全員の万歩計を回収して、前月の1日平均の歩数をチェックし、5,000歩以上の者に10歩につき1点の割合でポイントを支給している。

株式会社ユタカ（善通寺市）

・社員の健康管理と業務へのモチベーション向上を目指して、社員食堂にて無料で昼食を提供している。近所の農家と契約し、減農薬の新鮮な地元の米、野菜を使用。肉、魚もなるべく地元品を仕入れ、地産地消を心がけている。委託業者を一切入れず、冷凍食品も極力使わずに、所属の社員が栄養を考慮した献立を作成し、調理を行っている。

健康によい食材を使用することで、自然に体調管理ができ、社食を導入後は社員の仕事への意欲も向上した。